

## 11.12 景観

実施区域及びその周辺には主要な眺望点及び景観資源が存在し、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在による眺望景観への影響が考えられるため、景観の調査、予測及び評価を行いました。

### 11.12.1 道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観

#### 1) 調査結果の概要

##### (1) 調査した情報

調査項目は、以下のとおりとしました。

また、主要な眺望点及び主要な眺望景観の他に、身近な自然景観として、地域の人々が日常的に利用している場所等の身近な眺望点からの景観についても、地域の景観特性として把握しました。

ア．主要な眺望点の状況（身近な眺望点を含む）

イ．景観資源の状況

ウ．主要な眺望景観の状況（身近な自然景観を含む）

##### (2) 調査の手法

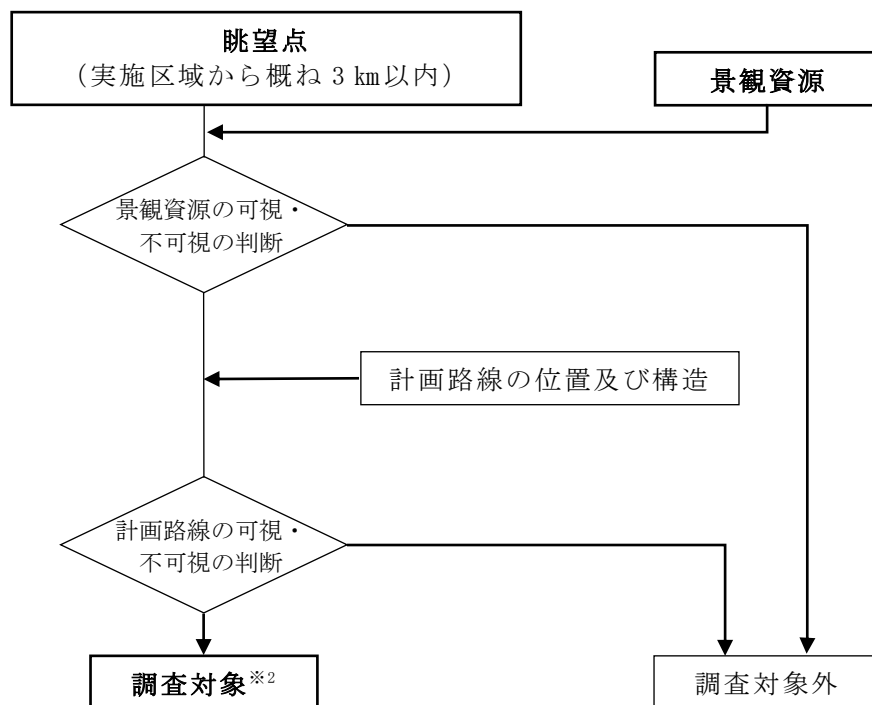
調査の手法は、既存資料調査及び現地調査としました。既存資料調査は、既存の文献資料による情報の収集及び当該情報の整理により行い、地方公共団体への聞き取り調査及び現地踏査も行いました。地方公共団体への聞き取り調査及び現地踏査は、主に身近な自然景観として、地域の人々が日常的に利用している場所等の身近な眺望点を調査する際に行いました。また、現地調査は、写真撮影及び目視により行いました。

### (3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、方法書の段階の実施区域から概ね 3 km<sup>※1</sup>の範囲とし、主要な眺望点が分布する地域としました。また、遠方に視認される北アルプス、中央アルプス、富士山を考慮し、景観資源の調査地域を適宜拡大しました。

調査地点は、主要な眺望点、身近な眺望点及び景観資源の分布、視覚的關係及び計画路線との位置等を踏まえ、図 11.12.1.1に示す調査地点の選定手順に示す方法で、主要な眺望景観及び身近な自然景観の変化が生じるおそれのある地点を選定しました。

調査地点の選定は、表 11.12.1.1及び表 11.12.1.2に、選定された調査地点は、表 11.12.1.3、図 11.12.1.2及び図 11.12.1.3に示すとおりです。



※2：実施区域から 3km 以遠の眺望点のうち、実施区域全体を見渡せる代表地点として諏訪湖 SA を追加

図 11.12.1.1 調査地点の選定手順

#### ■用語の説明■

※1:熟視角（対象をはっきりと見ることのできる視角）の概念を援用し、構造物等の見えが熟視角よりも小さくなれば、その景観上の存在感は十分小さいと判断する。熟視角は一般的に 1° あるいは 2° が使われている。熟視角を 1° とした場合は、対象をその大きさの約 58 倍の距離から見た場合に相当する。一方、過去の道路事業において出現した長大切土のり面の高さは規模の大きなものでも概ね 50m の高さである。両者の関係から計画路線の構造物等の見えが十分小さくなる距離を算出すると、 $58 \times 50 = 2,900\text{m} \div 3\text{km}$  となる。（出典：「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料 714 号」（平成 25 年 3 月 国土技術政策総合研究所））

表 11.12.1.1 (1) 調査地点の選定 (主要な眺望点)

番号	眺望点	視認できる景観資源	計画路線の 可視・不可視	調査 対象
1	塩嶺王城パークライン	3 km以遠であるため対象外		×
2	高尾城跡	3 km以遠であるため対象外		×
3	やまびこスケートの森	3 km以遠であるため対象外		×
4	鳥居平やまびこ公園	3 km以遠であるため対象外		×
5	鶴峯公園	3 km以遠であるため対象外		×
6	出早公園	—	不可視	×
7	梨久保遺跡	—	不可視	×
8	世界の太鼓博物館	3 km以遠であるため対象外		×
9	横河川の桜アーチ	—	不可視	×
10	旧渡辺家住宅	—	不可視	×
11	岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	3 km以遠であるため対象外		×
12	成田公園	3 km以遠であるため対象外		×
13	蚕霊供養塔 (照光寺)	3 km以遠であるため対象外		×
14	金上繭倉庫	3 km以遠であるため対象外		×
15	旧山一林組製糸事務所・ 守衛所	3 km以遠であるため対象外		×
16	岡谷美術考古館	3 km以遠であるため対象外		×
17	イルフ童画館	3 km以遠であるため対象外		×
18	旧林家住宅	3 km以遠であるため対象外		×
19	花岡公園	3 km以遠であるため対象外		×
20	釜口水門	3 km以遠であるため対象外		×
21	岡谷湖畔公園	3 km以遠であるため対象外		×
22	岡谷健康福祉施設ロマネット	—	不可視	×
23	浅間神社	3 km以遠であるため対象外		×
24	小坂公園	3 km以遠であるため対象外		×
25	大見山展望台	—	不可視	×
26	蓼の海	—	不可視	×
27	諏訪湖SA*	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園	可視	○
28	SUWAガラスの里の美術館	3 km以遠であるため対象外		×
29	すわっこランド	3 km以遠であるため対象外		×
30	諏訪市原田泰治美術館	3 km以遠であるため対象外		×
31	諏訪市美術館・片倉館	—	不可視	×
32	諏訪市湖畔公園	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園	可視	○
33	諏訪湖間欠泉センター	—	不可視	×

表 11.12.1.1 (2) 調査地点の選定 (主要な眺望点)

番号	眺望点	視認できる景観資源	計画路線の 可視・不可視	調査 対象
34	サンリツ服部美術館	—	不可視	×
35	北澤美術館	—	不可視	×
36	温泉寺	諏訪湖、塩嶺王城県立公園、 八ヶ岳中信高原国定公園	可視	○
37	立石公園	諏訪湖、視石高原、入笠高原、 塩嶺王城県立公園、 中央アルプス、北アルプス	可視	○
38	上諏訪駅足湯	—	不可視	×
39	手長神社	—	不可視	×
40	諏訪湖の森	3 km 以遠であるため対象外		×
41	地藏寺	—	不可視	×
42	正願寺	—	可視	×
43	八剣神社	—	不可視	×
44	高島城	—	不可視	×
45	文学の道公園	—	不可視	×
46	踊場湿原	3 km 以遠であるため対象外		×
47	阿弥陀寺	—	不可視	×
48	桑原城址	—	不可視	×
49	諏訪市博物館	—	不可視	×
50	神宮寺足湯	—	不可視	×
51	諏訪大社上社本宮	—	不可視	×
52	法華寺	—	不可視	×
53	市民の森	—	不可視	×
54	頼岳寺	—	不可視	×
55	諏訪氏城跡上原城	—	不可視	×
56	アクアランド茅野	—	不可視	×
57	放浪美術館	—	不可視	×
58	神長官守矢史料館	—	不可視	×
59	前宮公園	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園	可視	○
60	諏訪大社上社前宮	—	不可視	×
61	峠の茶屋	3 km 以遠であるため対象外		×
62	永明寺山公園	—	不可視	×
63	茅野市民館・茅野市美術館	—	不可視	×
64	白岩観音堂	3 km 以遠であるため対象外		×
65	米沢温泉 塩壺の湯	3 km 以遠であるため対象外		×
66	富士見橋	—	不可視	×

表 11.12.1.1 (3) 調査地点の選定 (主要な眺望点)

番号	眺望点	視認できる景観資源	計画路線の 可視・不可視	調査 対象
67	相楽塚	—	不可視	×
68	万治の石仏	—	不可視	×
69	諏訪大社下社春宮	—	不可視	×
70	水月公園	諏訪湖、硯石高原、入笠高原、 塩嶺王城県立公園	不可視	×
71	諏訪湖時の科学館儀象堂	—	不可視	×
72	青塚古墳	—	可視	×
73	遊泉ハウス児湯	—	不可視	×
74	下諏訪宿本陣岩波家	—	不可視	×
75	甲州街道・中山道合流の地	—	不可視	×
76	日本電産サンキョーオルゴール 記念館すわのね	—	不可視	×
77	諏訪大社下社秋宮	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園	不可視	×
78	富士山眺望ポイント 下諏訪町湖浜	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園、富士山	可視	○
79	ハーモ美術館	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園、富士山	可視	○
80	湖畔の湯	—	不可視	×
81	諏訪湖博物館・赤彦記念館	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園	可視	○
82	柿蔭山房	—	可視	×
83	いずみ湖公園	—	不可視	×
84	鎌倉街道ビューポイント	諏訪湖、霧ヶ峰、硯石高原、 入笠高原、塩嶺王城県立公園	不可視	×

※：実施区域から 3km 以遠の眺望点のうち、実施区域全体を見渡せる代表地点として諏訪湖 SA を追加。

出典：「全国観光情報データベース」(令和2年3月 公益社団法人日本観光振興協会)  
「各市町観光パンフレット」(令和2年3月 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町)  
「信州ふるさとの見える丘」(令和元年5月 長野県建設部都市・まちづくり課)  
「信州サンセットポイント100選」(平成11年 長野県観光機構)  
「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」(平成元年 環境庁)  
「自然公園指定状況一覧」(令和2年3月 長野県自然保護課)

表 11.12.1.2 調査地点の選定（身近な眺望点）

番号	眺望点	視認できる景観資源	計画路線の 可視・不可視	調査 対象
①	車橋歩道上（まちなか&田園コース）	霧ヶ峰、 市街地の背景となる山林、 上川河川敷のスイセン畑、 上川土手の桜並木	可視	○
②	上川マレットゴルフ場	霧ヶ峰、 市街地の背景となる山林、 上川河川敷のスイセン畑、 上川土手の桜並木	可視	×※1
③	足長神社	視石高原、入笠高原、 市街地の背景となる山林、 上川土手の桜並木	可視	○
④	尾玉団地の尾玉公園	諏訪湖	不可視	×
⑤	尾玉町入口（小鳥と緑花の散策路）	諏訪湖、塩嶺王城県立公園、 市街地の背景となる山林	不可視	×
⑥	御射宮司神社遺跡	諏訪湖、視石高原、 塩嶺王城県立公園、北アルプス、 湖岸通りの並木	可視	○
⑦	みはらし台公園	諏訪湖、霧ヶ峰、視石高原、 湖岸通りの並木、 高木のしだれ桜、 緑の住宅地（高木地区）	可視	○
⑧	向陽台公園	諏訪湖、湖岸通りの並木	可視	×※2
⑨	城山	諏訪湖、視石高原、入笠高原、 湖岸通りの並木	可視	○
⑩	天白社	諏訪湖、霧ヶ峰、視石高原、 塩嶺王城県立公園、 湖岸通りの並木、水月公園の桜	不可視	×
⑪	下諏訪北小学校上	諏訪湖、湖岸通りの並木、 春宮周辺の樹林	不可視	×
⑫	慈雲寺	市街地の背景となる山林	不可視	×

※1：同様の眺望である①で代替。

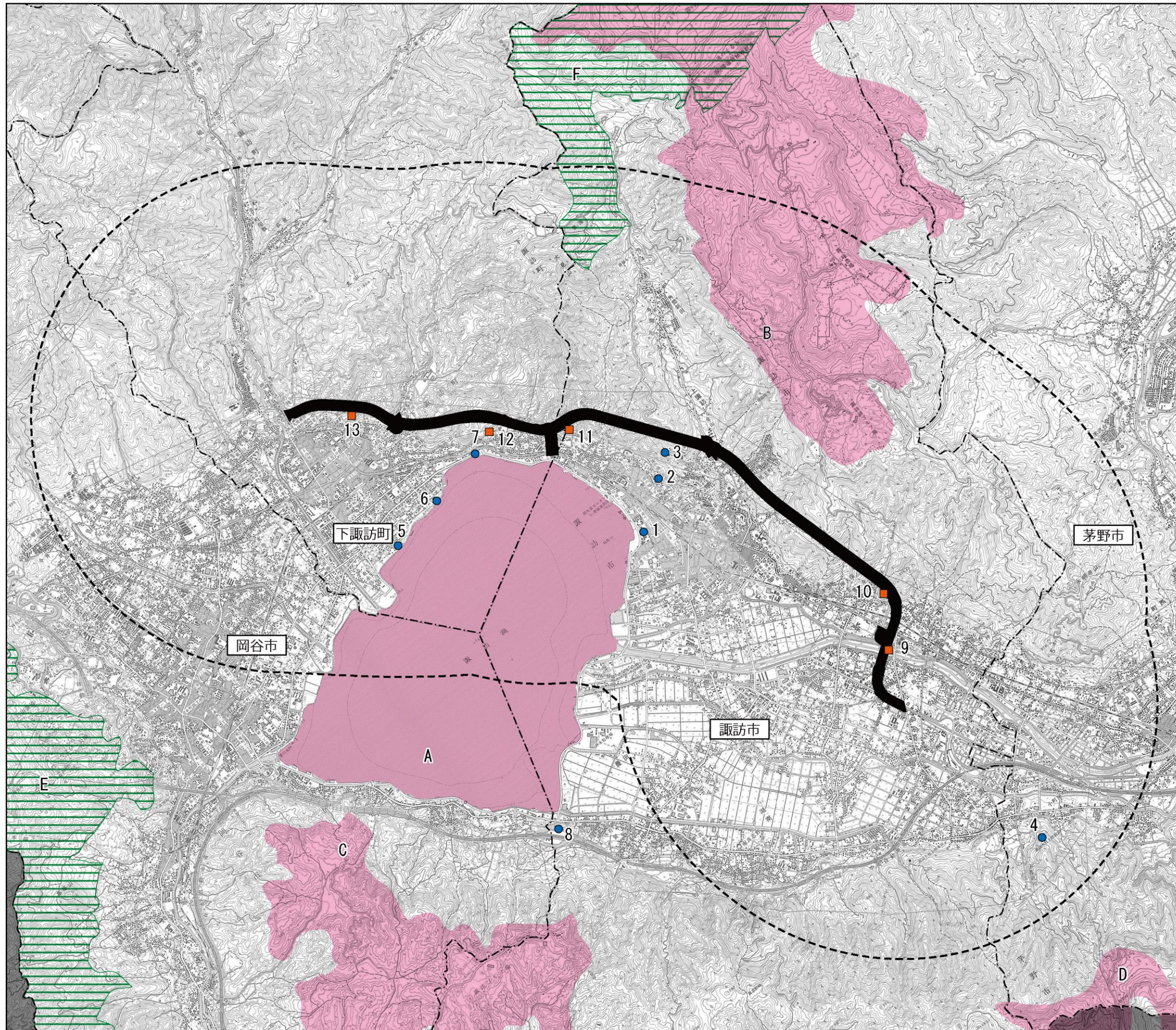
※2：同様の眺望である⑨で代替。

出典：「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）  
「自然公園指定状況一覧」（令和2年3月 長野県自然保護課）

表 11.12.1.3 景観の調査地点

区分	番号	眺望点	視認できる景観資源
主要な眺望点	1	諏訪市湖畔公園	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園
	2	温泉寺	諏訪湖、塩嶺王城県立公園、 八ヶ岳中信高原国定公園
	3	立石公園	諏訪湖、視石高原、入笠高原、 塩嶺王城県立公園、 中央アルプス、北アルプス
	4	前宮公園	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園
	5	富士山眺望ポイント下諏訪町湖畔	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園、富士山
	6	ハーモ美術館	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園、富士山
	7	諏訪湖博物館・赤彦記念館	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園
	8	諏訪湖 SA	諏訪湖、霧ヶ峰、 八ヶ岳中信高原国定公園
身近な眺望点	9	車橋歩道上（まちなか&田園コース）	霧ヶ峰、 市街地の背景となる山林、 上川河川敷のスイセン畑、 上川土手の桜並木
	10	足長神社	視石高原、入笠高原、 市街地の背景となる山林、 上川土手の桜並木
	11	御射宮司神社遺跡	諏訪湖、視石高原、 塩嶺王城県立公園、北アルプス、 湖岸通りの並木
	12	みはらし台公園	諏訪湖、霧ヶ峰、視石高原、 湖岸通りの並木、 高木のしだれ桜、 緑の住宅地（高木地区）
	13	城山	諏訪湖、視石高原、入笠高原、 湖岸通りの並木

図 11.12.1.2 景観の調査地点位置図



【主要な眺望点・身近な眺望点】	
記号	名称
＜主要な眺望点＞	
●	1 諏訪市湖畔公園
	2 温泉寺
	3 立石公園
	4 前宮公園
	5 富士山眺望ポイント下諏訪町湖浜
	6 ハーモ美術館
	7 諏訪湖博物館・赤彦記念館
	8 諏訪湖 SA
＜身近な眺望点＞	
■	9 車橋歩道上（まちなか&田園コース）
	10 足長神社
	11 御射宮司神社遺跡
	12 みはらし台公園
	13 城山

【景観資源】	
記号	名称
■	A 諏訪湖
■	B 霧ヶ峰
■	C 硯石高原
■	D 入笠高原
■	E 塩峰王城県立公園
■	F 八ヶ岳中信高原国定公園

出典：「全国観光情報データベース」（令和2年3月 公益社団法人日本観光振興協会）  
 「各市町観光パンフレット」（令和2年3月 岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町）  
 「信州ふるさとの見える丘」（令和元年5月 長野県建設部都市・まちづくり課）  
 「信州サンセットポイント100選」（平成11年 長野県観光機構）  
 「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」（平成元年 環境庁）  
 「自然公園指定状況一覧」（令和2年3月 長野県自然保護課）

○：調査地域（方法書の段階の実施区域から3kmの範囲）

記号	名称
■	都市計画対象道路事業実施区域
---	行政界
■	調査対象外

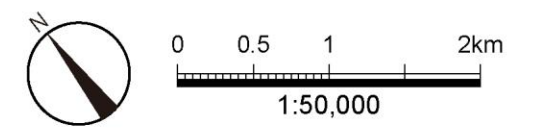
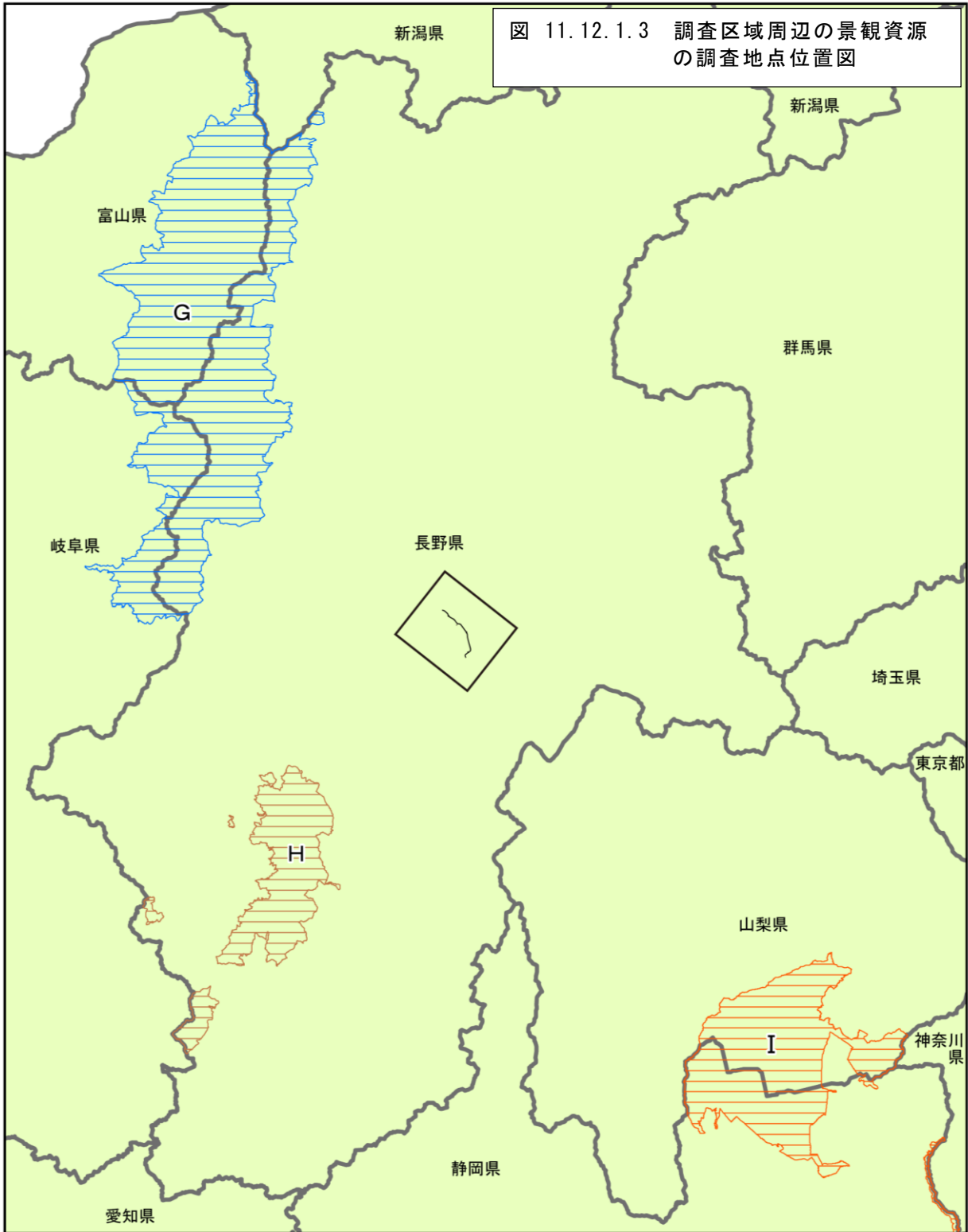




図 11.12.1.3 調査区域周辺の景観資源の調査地点位置図

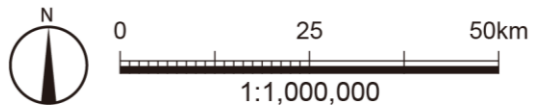


【景観資源】	
記号	名称
	G 北アルプス（中部山岳国立公園）
	H 中央アルプス（中央アルプス国立公園）
	I 富士山（富士箱根伊豆国立公園）

出典：「自然公園指定状況一覧」（令和2年3月 長野県自然保護課）  
 「山梨県自然環境保全図」（平成27年3月 山梨県森林林業部）  
 「静岡県自然公園・自然環境保全地域配置図」（平成22年4月 静岡県くらし・環境部）

記号	名称
	都市計画対象道路事業実施区域
	行政界
	調査区域

注：北アルプス、中央アルプス、富士山は、明確な範囲の指定がないため、便宜的に該当の山並みを含む自然公園の範囲を示した。



(4) 調査期間等

現地調査の調査期間は、主要な眺望点及び身近な眺望点の利用状況、景観資源の自然特性を考慮し、主要な眺望景観及び身近な自然景観が当該地域において代表的なものとなる期間、時期及び時間帯としました。調査期間は、表 11.12.1.4に示すとおりです。

表 11.12.1.4 景観の調査期間

調査地点	時期	調査期間	備考
1. 諏訪市湖畔公園 2. 温泉寺 3. 立石公園 4. 前宮公園	春季	平成 29 年 4 月 22 日 (土) ～4 月 25 日 (火)	桜の開花時期
5. 富士山眺望ポイント 下諏訪町湖浜 6. ハーモ美術館	夏季	平成 29 年 8 月 5 日 (土) ～8 月 9 日 (水)	樹林等の緑の多い時期
7. 諏訪湖博物館・赤彦記念館 9. 車橋歩道上 (まちなか&田園コース)	秋季	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～11 月 3 日 (金)	紅葉の時期
10. 足長神社 11. 御射宮司神社遺跡 12. みはらし台公園 13. 城山	冬季	平成 30 年 1 月 28 日 (日)、 1 月 29 日 (月)	山地の冠雪、 諏訪湖の結氷時期
8. 諏訪湖 SA	春季	平成 30 年 4 月 7 日 (土)	桜の開花時期
	夏季	平成 29 年 8 月 9 日 (水)	樹林等の緑の多い時期
	秋季	平成 29 年 11 月 1 日 (水)	紅葉の時期
	冬季	平成 30 年 1 月 29 日 (月)	山地の冠雪、 諏訪湖の結氷時期

(5) 調査結果

ア. 主要な眺望点の状況

ア) 主要な眺望点の状況

主要な眺望点の状況は、表 11.12.1.5に示すとおりです。

表 11.12.1.5 主要な眺望点の状況

番号	調査地点	計画路線の 明かり部 からの距離	眺望点の状況	所在地
1	諏訪市湖畔公園	約 1,570m	湖畔沿いに広がる約 16 万 m <sup>2</sup> の広大な敷地内に、スポーツ広場や多目的広場、モニュメントや彫刻等があり、諏訪湖を臨む美しい景色にも恵まれています。	諏訪市
2	温泉寺	約 750m	高島藩主の菩提寺です。開基は高島藩初代藩主諏訪頼水です。本堂と三門は焼失したため明治 2 年に高島城から移しました。中部四十九薬師霊場 7 番札所でもあります。	諏訪市
3	立石公園	約 460m	諏訪湖を中心に諏訪市はもとより、下諏訪町、岡谷市が一望できます。また、展望台から夕焼けを楽しめます。	諏訪市
4	前宮公園	約 2,250m	親子で楽しめる公園です。	茅野市
5	富士山眺望 ポイント 下諏訪町湖浜	約 1,190m	下諏訪町の湖畔から遠望する富士山は国土交通省関東地方整備局が選定した「関東の富士見百景」に選ばれています。	下諏訪町
6	ハーモ美術館	約 1,210m	アンリ・ルソーによって開花した素朴派を常設展示し、個性的な美術館として注目を集めています。素朴派とは、他に職業を持ちながら画家を続けた人々の総称です。	下諏訪町
7	諏訪湖博物館 ・赤彦記念館	約 500m	諏訪湖と人々の暮らしをテーマに、その様子を展示しています。アララギ派の歌人、島木赤彦の資料も展示しています。また、諏訪湖の鳥の観察もできます。	下諏訪町
8	諏訪湖SA	約 4,570m	全国の高速道路で唯一の温泉施設があり、諏訪湖を眺望しながら上諏訪温泉を堪能できます。	諏訪市

イ) 身近な眺望点の状況

身近な眺望点の状況は、表 11.12.1.6に示すとおりです。

表 11.12.1.6 身近な眺望点の状況

番号	調査地点	計画路線の 明かり部 からの距離	眺望点の状況	所在地
9	車橋歩道上 (まちなか& 田園コース)	約 130m	上川に架かる橋です。目の前の上川河川敷にはスイセンが、土手には桜が植えられており、春には同時に開花します。	諏訪市
10	足長神社	約 170m	足長神社は諏訪市の指定文化財です。舞屋から上川を望むようにベンチが設置されています。	諏訪市
11	御射宮司 神社遺跡	約 170m	諏訪大社の神事に由来する神社跡で、眺望が良い箇所として東屋が建てられています。	諏訪市
12	みはらし台公園	約 150m	平成元年に整備された公園です。敷地内には下諏訪町の天然記念物である高木のしだれ桜があります。	下諏訪町
13	城山	約 400m	町誌に「桜の城」と記される場所です。桜等が植えられ、また、展望台が設置されています。	下諏訪町

## イ. 景観資源の状況

景観資源の状況は、表 11.12.1.7に示すとおりです。また、その他に身近な自然景観を形成する景観資源として、「市街地の背景となる山林」、「上川河川敷のスイセン畑」、「上川土手の桜並木」、「湖岸通りの並木」、「高木のしだれ桜」、「緑の住宅地（高木地区）」があります。

表 11.12.1.7(1) 景観資源の状況

記号・名称	A. 諏訪湖
位置	諏訪市、下諏訪町、岡谷市
規模	面積約 13.3km <sup>2</sup> 、湖周約 15.9 km
標高	759m
資源特性	諏訪湖は一級河川天竜川の上流に位置する湖です。湖の周辺には、諏訪市湖畔公園、ジョギングコース、遊覧船乗り場等が整備されています。
景観特性	諏訪湖周辺の広い範囲から眺望することができ、春は湖岸の桜、夏は新緑・湖上の花火、秋は周辺の山々の紅葉、冬は湖面の御神渡り等、四季を通じて楽しむことができます。

表 11.12.1.7(2) 景観資源の状況

記号・名称	B. 霧ヶ峰
位置	諏訪市
規模	東西約 10 km、南北約 5 km
標高	1,925m（主峰：車山）
資源特性	霧ヶ峰は主峰車山を中心とした高原状台地を形成しています。八島ヶ原湿原、車山湿原、踊場湿原の3つの湿原があり、コバイケイソウ、レンゲツツジ、ニッコウキスゲ等の様々な花が咲き乱れます。
景観特性	見どころとなる時期は、コバイケイソウ、レンゲツツジ、ニッコウキスゲ等の花が開花する夏です。

表 11.12.1.7(3) 景観資源の状況

記号・名称	C. 硯石高原
位置	諏訪市
規模	東西約 5 km、南北約 5 km
標高	950m～1,100m
資源特性	硯石高原は、諏訪湖南西部にある非火山性高原です。現在は、ザゼンソウの里公園、石碑探訪コースがあります。
景観特性	特に見どころとなる時期はありませんが、諏訪湖の北～東側にある高台から眺望することができます。

表 11.12.1.7(4) 景観資源の状況

記号・名称	D. 入笠高原
位置	茅野市、富士見町、伊那市
規模	面積約 850ha
標高	1,700m～1,955m
資源特性	入笠高原は非火山性高原であり、目の前に八ヶ岳連峰・霧ヶ峰がそびえ、諏訪湖、南アルプス、北アルプスを一望できます。入笠山の山腹の草原では、オオバギボウシ、コオニユリ、エゾカワラナデシコ、チダケサシ、アカヌマフウロ、ヤナギラン、ユウリンカが見られます。
景観特性	見どころとなる時期は、花々が開花する夏です。

表 11.12.1.7(5) 景観資源の状況

記号・名称	E. 塩嶺王城県立公園
位置	岡谷市、塩尻市、辰野町
規模	面積約 1,340ha
標高	約 1,000m
資源特性	塩嶺王城県立公園は、塩尻峠から勝弦峠、小野峠を経て、王城山に至る標高 1,000m 級の高原一帯を区域とする自然公園です。アカマツやカラマツに覆われ、公園内には国の天然記念物に指定されているしだれ栗の自生地があります。
景観特性	見どころとなる時期は、春の芽吹き、秋の紅葉、冬の雪化粧の時期です。

表 11.12.1.7(6) 景観資源の状況

記号・名称	F. 八ヶ岳中信高原国定公園
位置	佐久市、佐久穂町、小海町、南牧村、立科町、上田市、長和町、岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村、松本市、塩尻市、山梨県北杜市
規模	面積約 39,857ha
標高	2,899m（最高峰：赤岳）
資源特性	八ヶ岳中信高原国定公園は、長野県のほぼ中央に位置し、八ヶ岳連峰とその北西に広がる霧ヶ峰、高ボッチ、美ヶ原等の中信高原にわたる地域で、優れた自然景観を有する国定公園です。八ヶ岳連峰に生育する高山植物、霧ヶ峰高原の湿原植物群落、美ヶ原高原の乾性高原等、地域特有の植生が見られます。
景観特性	資源分布が広域であるため、見どころとなる時期は様々です。

表 11.12.1.7(7) 景観資源の状況

記号・名称	G. 北アルプス
位置	松本市、大町市他
規模	東西約 25 km、南北約 150 km
標高	3,190m (最高峰：奥穂高岳)
資源特性	北アルプスは、東西に 25 km、南北に 150 km の広大な山岳域を形成し、そのほとんどが中部山岳国立公園に指定されています。最高峰は奥穂高岳で 3,190m であり、そのほか槍ヶ岳等 3,000m 級の山々が連なっています。
景観特性	実施区域からは離れているため、特に見どころとなる時期はありません。諏訪湖の北～東側にある高台から眺望することができます。

表 11.12.1.7(8) 景観資源の状況

記号・名称	H. 中央アルプス
位置	伊那市、駒ヶ根市他
規模	東西約 20 km、南北約 90 km
標高	2,956m (最高峰：木曾駒ヶ岳)
資源特性	中央アルプスは、伊那谷と木曾谷に挟まれて、南北に約 90 km の長さで走っています。最高峰は木曾駒ヶ岳で、この山を中心に南駒ヶ岳、熊沢岳等 2,700m～2,800m の山々が肩を並べています。
景観特性	実施区域からは離れているため、特に見どころとなる時期はありません。諏訪湖の北～東側にある高台から眺望することができます。

表 11.12.1.7(9) 景観資源の状況

記号・名称	I. 富士山
位置	山梨県富士吉田市、鳴沢村他
規模	東西約 39 km、南北約 37 km
標高	3,776m
資源特性	富士山は、2,300 万年前～500 万年前に海底火山が噴火して以降、4 回の大噴火を繰り返し、今日の形ができあがった成層火山です。標高が増すごとに山腹の斜面の勾配も増し、美しい円錐形を描いている富士山は、南側の山麓は、駿河湾にまで及び、海面から山頂まで傾斜面が連続する成層火山としては、世界有数の高さを誇ります。遠くから眺めると、裾野まで末広がりには伸びている姿は、美しさも日本一の山です。
景観特性	実施区域からは離れているため、特に見どころとなる時期はありません。諏訪湖の北側や上川沿いから眺望することができます。

ウ. 主要な眺望景観の状況

ア) 主要な眺望景観の状況

主要な眺望点からの主要な眺望景観の状況は、表 11.12.1.8に示すとおりです。

表 11.12.1.8 主要な眺望景観の状況

番号	調査地点	眺望景観の状況	視認できる景観資源
1	諏訪市湖畔公園	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園等の周辺の山々を眺 望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園
2	温泉寺	眺望点から諏訪湖や塩嶺王城県立公 園、八ヶ岳中信高原国立公園等の周辺 の山々を眺望できます。	A. 諏訪湖 E. 塩嶺王城県立公園 F. 八ヶ岳中信高原国立公園
3	立石公園	眺望点から諏訪湖や視石高原、入笠 高原、塩嶺王城県立公園、北アルプ ス、中央アルプス等の周辺の山々を眺 望できます。	A. 諏訪湖 C. 視石高原 D. 入笠高原 E. 塩嶺王城県立公園 G. 北アルプス H. 中央アルプス
4	前宮公園	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園等の周辺の山々を眺 望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園
5	富士山眺望 ポイント 下諏訪町湖浜	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園、富士山等の周辺 の山々を眺望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園 I. 富士山
6	ハーモ美術館	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園、富士山等の周辺 の山々を眺望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園 I. 富士山
7	諏訪湖博物館 ・赤彦記念館	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園等の周辺の山々を眺 望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園
8	諏訪湖SA	眺望点から諏訪湖や霧ヶ峰、八ヶ岳 中信高原国立公園等の周辺の山々を眺 望できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 F. 八ヶ岳中信高原国立公園



イ) 身近な自然景観の状況

身近な眺望点からの身近な自然景観の状況は、表 11.12.1.9に示すとおりです。

表 11.12.1.9 身近な自然景観の状況

番号	調査地点	眺望景観の状況	視認できる景観資源
9	車橋歩道上 (まちなか& 田園コース)	眺望点から霧ヶ峰を眺望できます。 また、身近な景観資源として、市街地の背景となる山林、上川河川敷のスイセン畑と上川土手の桜並木が視認できます。	B. 霧ヶ峰 市街地の背景となる山林 上川河川敷のスイセン畑 上川土手の桜並木
10	足長神社	眺望点から硯石高原、入笠高原を眺望できます。また、身近な景観資源として、市街地の背景となる山林、上川土手の桜並木が視認できます。	C. 硯石高原 D. 入笠高原 市街地の背景となる山林 上川土手の桜並木
11	御射宮司神社 遺跡	眺望点から諏訪湖、硯石高原、塩嶺王城県立公園、北アルプスを眺望できます。また、身近な景観資源として、湖岸通りの並木が視認できます。	A. 諏訪湖 C. 硯石高原 E. 塩嶺王城県立公園 G. 北アルプス 湖岸通りの並木
12	みはらし台公園	眺望点から諏訪湖、霧ヶ峰、硯石高原を眺望できます。また、身近な景観資源として、湖岸通りの並木、高木のしだれ桜、緑の住宅地（高木地区）が視認できます。	A. 諏訪湖 B. 霧ヶ峰 C. 硯石高原 湖岸通りの並木 高木のしだれ桜 緑の住宅地（高木地区）
13	城山	眺望点から諏訪湖、硯石高原、入笠高原を眺望できます。また、身近な景観資源として、湖岸通りの並木が視認できます。	A. 諏訪湖 C. 硯石高原 D. 入笠高原 湖岸通りの並木

## 2) 予測結果

### (1) 予測の手法

道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観の予測は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料 714 号」（平成 25 年 3 月 国土技術政策総合研究所）に基づいて行いました。

#### ア. 予測手順

予測は、以下に示す項目により行いました。

##### ア) 主要な眺望点及び景観資源の改変

主要な眺望点、身近な眺望点及び景観資源と計画路線を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置及び程度を把握しました。

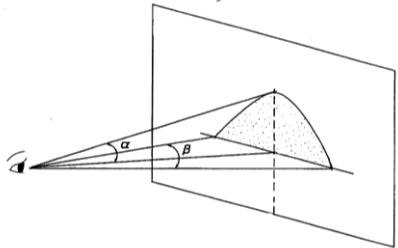
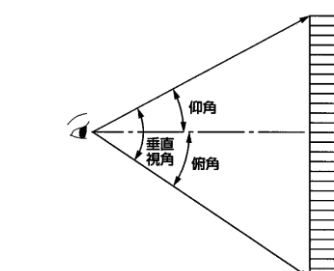
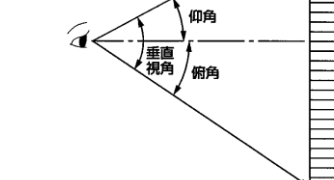
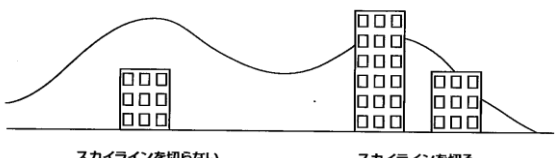
##### イ) 主要な眺望景観の変化

フォトモンタージュ法による視覚的な表現方法により、計画路線完成後の予想図を再現し、主要な眺望景観及び身近な自然景観の変化の程度を把握しました。また、計画路線の目立ちやすさを示す物理的指標を用い、眺望景観の変化の程度が人間に与える影響（圧迫感、目立ちやすさ等）を整理しました。視覚に関する物理的指標は表 11.12.1.10に、物理的指標の解析方法は表 11.12.1.11に示すとおりです。

#### ■用語の説明■

フォトモンタージュ法：撮影した現状の写真上に、対象事業の完成予定図を合成して、眺望景観の変化を予測する方法。最も一般的に用いられている方法であり、再現性に優れ、適用範囲も広い。

表 11.12.1.10 視覚に関する物理的指標

指標	内容	
視距離	<p>視距離によって施設等の認知を規定する要因（テクスチャー、色彩、形態等）が変化するので、保全水準の達成の程度の判定及び保全対策の立案への指標としても役立ちます。</p>	<p>景観の視距離を近景・中景・遠景と区分すると、この3区分は対象によってその絶対的距離は異なってきますが、概ね以下のような感覚でとらえられています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近景…対象の要素やディテールが目につきやすい領域（500m程度以内）</li> <li>・中景…対象全体の形態がとらえやすく、対象が景観の主体となる領域（500m～3km程度）</li> <li>・遠景…対象が景観のごく一部となる領域（3km程度以遠）</li> </ul>
水平見込角	<p>視点からの対象の見えの大きさを表わす指標で、視点から対象を見込む水平見込角を指標値として用います。</p>	<p>水平見込角が10度を超えると対象構造物は目立つようになります。</p>  <p><math>\alpha</math> : 垂直視角 <math>\beta</math> : 水平見込角</p>
仰角	<p>仰角とは、対象物の上端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。構造物の見えの面積とほぼ比例関係にある仰角を圧迫感の指標として用います。仰角が大きいと圧迫感を感じます。</p>	<p>仰角は18度になると圧迫感が感じられ始め、30度では対象物が全視野を占め、圧迫感が残ります（メルテンスの法則）。また、俯角10度付近は俯瞰景観における中心領域であるといわれており、実施区域がその周辺に位置する場合は目につきやすくなります。</p> 
俯角	<p>対象物の下端と視点を結ぶ線と水平線のなす角。俯瞰景観においては、俯角が目につき易さの重要な指標となります。</p>	
スカイライン切断の有無	<p>スカイラインとは山が空を背景として描く輪郭線のこと。</p>	<p>人工物の出現により、スカイラインの連続性が切断された場合には、景観上の支障が大きくなるとされています。</p> 

出典：「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料714号」（平成25年3月 国土技術政策総合研究所）

表 11.12.1.11 物理的指標の解析方法

指標名	解析方法
視距離	<p>① フォトモンタージュ等の視覚的予測方法を用いて、影響の最も大きいと考えられる箇所を把握します。</p> <p>② 地形図に①で把握した箇所を示します。</p> <p>③ 主要な眺望点（調査地点）と②で示した箇所の距離を測定します。</p>
水平見込角	<p>① フォトモンタージュ等の視覚的予測方法を用いて、実施区域の見えている区間を測定します。</p> <p>② 地形図に①で測定した区間を示します。</p> <p>③ ②で地形図上に示した区間の水平見込角を測定します。</p>
仰角・俯角	<p>① フォトモンタージュ等の視覚的予測方法を用いて、影響の最も大きいと考えられる箇所を把握します。</p> <p>② 地形図に①で把握した箇所を示します。</p> <p>③ 主要な眺望点（調査地点）と②で示した箇所の標高データを地形図上で測定します。</p> <p>④ ③で測定した標高データと視距離より仰角（俯角）を算出します。</p>
スカイライン切断の有無	<p>フォトモンタージュ等の視覚的予測方法を用いて、スカイラインの切断の有無を把握します。</p>

出典：「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料 714 号」（平成 25 年 3 月 国土技術政策総合研究所）

(2) 予測地域及び予測地点

ア. 主要な眺望点及び景観資源の改変

予測地域は、調査地域のうち、主要な眺望点、身近な眺望点及び景観資源の改変が生じるおそれのある地域を選定しました。

イ. 主要な眺望景観の変化

予測地点は、計画路線が視認でき、主要な眺望景観及び身近な自然景観の変化が生じるおそれのある地点としました。予測地点は、表 11.12.1.12及び図 11.12.1.2に示すとおりです。

表 11.12.1.12 主要な眺望景観の変化の予測地点

区分	番号	眺望点	景観資源
主要な眺望景観	1	諏訪市湖畔公園	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園
	2	温泉寺	A. 諏訪湖、E. 塩嶺王城県立公園、 F. 八ヶ岳中信高原国定公園
	3	立石公園	A. 諏訪湖、C. 硯石高原、D. 入笠高原、 E. 塩嶺王城県立公園、G. 北アルプス、H. 中央アルプス
	4	前宮公園	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園
	5	富士山眺望ポイント 下諏訪町湖浜	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園、 I. 富士山
	6	ハーモ美術館	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園、 I. 富士山
	7	諏訪湖博物館・ 赤彦記念館	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園
	8	諏訪湖SA	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、F. 八ヶ岳中信高原国定公園
身近な自然景観	9	車橋歩道上(まちなか & 田園コース)	B. 霧ヶ峰、市街地の背景となる山林、 上川河川敷のスイセン畑、上川土手の桜並木
	10	足長神社	C. 硯石高原、D. 入笠高原 市街地の背景となる山林、上川土手の桜並木
	11	御射宮司神社遺跡	A. 諏訪湖、C. 硯石高原、E. 塩嶺王城県立公園、 G. 北アルプス、湖岸通りの並木
	12	みはらし台公園	A. 諏訪湖、B. 霧ヶ峰、C. 硯石高原、湖岸通りの並木、 高木のしだれ桜、緑の住宅地(高木地区)
	13	城山	A. 諏訪湖、C. 硯石高原、D. 入笠高原、 湖岸通りの並木

(3) 予測対象時期

予測対象時期は、計画路線の完成時において、主要な眺望点及び身近な眺望点の利用状況(利用時期等)、景観資源の自然特性(見どころとなる時期等)を踏まえ、主要な眺望点、身近な眺望点、景観資源、主要な眺望景観及び身近な自然景観に係る影響を的確に把握できる時期としました。

(4) 予測結果

ア. 主要な眺望点及び景観資源の改変

主要な眺望点及び身近な眺望点については、計画路線による改変はありません。  
景観資源の改変による予測結果は、表 11.12.1.13に示すとおりです。

表 11.12.1.13 景観資源の改変による予測結果

区分	景観資源	予測結果
主要な景観資源	A. 諏訪湖	景観資源は最も近い計画路線明かり部から約 395m に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	B. 霧ヶ峰	景観資源は最も近い計画路線明かり部から約 1,000m に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	C. 硯石高原	景観資源は計画路線から 3km 以上の遠方に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	D. 入笠高原	
	E. 塩嶺王城県立公園	
	F. 八ヶ岳中信高原 国定公園	景観資源は最も近い計画路線明かり部から約 2,030m に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	G. 北アルプス	景観資源は計画路線から 3km 以上の遠方に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	H. 中央アルプス	
	I. 富士山	
身近な景観資源	市街地の背景となる 山林	計画路線は景観資源を盛土、切土、橋梁、トンネル構造で通過します。道路の存在により景観資源の一部が改変されますが、計画路線は大半をトンネル構造で通過し、同様の山林は周辺に広く分布することから、景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
	上川河川敷の スイセン畑	計画路線は景観資源を橋梁構造で通過します。橋脚の設置により景観資源の一部が改変されますが、大部分が残されることから、景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
	上川土手の桜並木	計画路線は景観資源を橋梁構造で通過します。橋梁の設置により景観資源の一部が改変されますが、大部分が残されることから、景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。
	湖岸通りの並木	景観資源は、最も近い計画路線明かり部から約 400m に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	高木のしだれ桜	景観資源は、最も近い計画路線明かり部から約 125m に位置するため、景観資源の改変はなく、景観資源の価値は損なわれないと予測されます。
	緑の住宅地 (高木地区)	計画路線は景観資源を盛土、切土、橋梁、トンネル構造で通過します。道路の存在により景観資源の一部が改変されますが、計画路線は大半をトンネル構造で通過し、同様の住宅地は周辺に広く分布することから、景観資源の価値を大きく損なうものではないと予測されます。

## イ. 主要な眺望景観の変化

事業の実施により景観の変化が生じるおそれのある眺望点において、フォトモンタージュ法により景観の変化の程度を予測しました。

### ア) 主要な眺望景観の変化

#### 1. 諏訪市湖畔公園

諏訪市湖畔公園からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(1)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(1)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として東方向に霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園を、北方向に諏訪湖を望めます。

計画路線は中景に位置し、下諏訪町武居南、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 0.8～12.8 度と構造物が目立ちやすい値となっておりますが、可視部は小さく、仰角は 2.2 度と圧迫感を生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、諏訪市湖畔公園からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(1) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 1,810m (中景)
水平見込角	下諏訪町東高木：12.8 度
	下諏訪町武居南：0.8 度
仰角	2.2 度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 11 月 1 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS Kiss X5		

写真 11.12.1.1(1) 主要な眺望景観の変化(1. 諏訪市湖畔公園)



## 2. 温泉寺

温泉寺からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(2)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(2)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として北西方向に諏訪湖、塩嶺王城県立公園、八ヶ岳中信高原国定公園を望めます。

計画路線は中景に位置し、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれますが、可視部は小さく、水平見込角は 8.1 度と構造物は目立たない値に、仰角は 1.8 度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、塩嶺王城県立公園、八ヶ岳中信高原国定公園との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路附属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、温泉寺からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(2) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 1,600m (中景)
水平見込角	8.1 度
仰角	1.8 度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 8 月 7 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS Kiss X5		

写真 11.12.1.1(2) 主要な眺望景観の変化(2. 温泉寺)

### 3. 立石公園

立石公園からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(3)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(3)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として西方向に諏訪湖、靦石高原、塩嶺王城県立公園、北アルプス、中央アルプスを、南方向に入笠高原を望めます。

計画路線は中景に位置し、諏訪市四賀、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれますが、可視部は小さく、水平見込角は 2.2～3.9 度と構造物は目立たない値に、俯角は 3.6 度と俯瞰景観の中心域から外れており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、靦石高原、入笠高原、塩嶺王城県立公園、北アルプス、中央アルプスとの重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、立石公園からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(3) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 1,570m (中景)
水平見込角	諏訪市四賀：3.9 度
	下諏訪町東高木：2.2 度
俯角	3.6 度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 8 月 7 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(3) 主要な眺望景観の変化(3.立石公園)

#### 4. 前宮公園

前宮公園からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(4)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(4)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として北方向に諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園を望めます。

計画路線は中景に位置し、諏訪市四賀、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 2.4～14.9 度と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、俯角は 0.8 度と俯瞰景観の中心域から外れているとともに、仰角は 0.2 度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、前宮公園からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(4) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 2,770m (中景)
水平見込角	諏訪市四賀：14.9 度
	下諏訪町東高木：2.4 度
俯角	0.8 度
仰角	0.2 度
スカイラインの切断	なし




現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 8 月 9 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(4) 主要な眺望景観の変化(4.前宮公園)

## 5. 富士山眺望ポイント下諏訪町湖浜

富士山眺望ポイント下諏訪町湖浜からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(5)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(5)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として東方向に霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園、富士山を、南方向に諏訪湖を望めます。

計画路線は中景に位置し、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 17.5 度と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、仰角は 2.7 度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園、富士山との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、富士山眺望ポイント下諏訪町湖浜からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(5) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 1,580m (中景)
水平見込角	17.5 度
仰角	2.7 度
スカイラインの切断	なし




現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 11 月 2 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	52.5mm
	使用カメラ	ニコン D90		

写真 11.12.1.1(5) 主要な眺望景観の変化(5. 富士山眺望ポイント下諏訪町湖浜)



## 6. ハーモ美術館

ハーモ美術館からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(6)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(6)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として東方向に富士山、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国立公園を、南方向に諏訪湖を望めます。

計画路線は中景に位置し、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれますが、可視部は小さく、水平見込角は3.2度と構造物は目立たない値に、仰角は2.6度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国立公園、富士山との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、ハーモ美術館からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(6) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 1,640m (中景)
水平見込角	3.2度
仰角	2.6度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	52.5mm
	使用カメラ	ニコン D90		

写真 11.12.1.1(6) 主要な眺望景観の変化(6.ハーモ美術館)

## 7. 諏訪湖博物館・赤彦記念館

諏訪湖博物館・赤彦記念館からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(7)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(7)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として東方向に霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園を、南方向に諏訪湖を望めます。

計画路線は中景に位置し、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 33.7 度と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、仰角は 7.0 度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路附属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、諏訪湖博物館・赤彦記念館からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(7) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 530m (中景)
水平見込角	33.7 度
仰角	7.0 度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
変更される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	52.5mm
	使用カメラ	ニコン D90		

写真 11.12.1.1(7) 主要な眺望景観の変化(7. 諏訪湖博物館・赤彦記念館)

## 8. 諏訪湖 SA

諏訪湖 SA からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(8)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(8)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として北東方向に諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園を望めます。

計画路線は遠景に位置し、下諏訪町武居南、東高木、諏訪市上諏訪の明かり部が視野に含まれますが、可視部は遠方で小さく、水平見込角は 2.6～7.8 度と構造物は目立たない値に、仰角は 0.4 度と圧迫感が生じない角度に抑えられており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、八ヶ岳中信高原国定公園との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、諏訪湖 SA からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(8) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 5,130m (遠景)
水平見込角	下諏訪町東高木 : 7.8 度
	下諏訪町武居南 : 2.6 度
仰角	0.4 度
スカイラインの切断	なし




現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 8 月 9 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(8) 主要な眺望景観の変化(8. 諏訪湖 SA)

## イ) 身近な自然景観の変化

### 9. 車橋歩道上（まちなか&田園コース）

車橋歩道上（まちなか&田園コース）からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(9)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(9)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として北方向に霧ヶ峰、市街地の背景となる山林を、北西方向に上川土手の桜並木、上川河川敷のスイセン畑を望めます。

計画路線は近景に位置し、諏訪市四賀の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 116.6 度と構造物が目立ちやすい値となっており、眺望景観の中央部に横断する橋梁の可視部も大きく目立ちますが、俯角は 2.4 度と俯瞰景観の中心域から外れており、仰角は 2.0 度と圧迫感が生じない角度に抑えられています。また、計画路線の橋梁部及びトンネル坑口部と景観資源である霧ヶ峰、市街地の背景となる山林、上川河川敷のスイセン畑、上川土手の桜並木とは一部が重なるため、景観資源の眺望が一部阻害されます。遠方の山並みのスカイラインの一部に切断が生じますが、近傍の山並みのスカイラインは切断されません。以上より、眺望景観に変化が生じますが、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、車橋歩道上（まちなか&田園コース）からの眺望景観の変化による影響は低減されると予測されます。

表 11.12.1.14(9) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 130m（近景）
水平見込角	116.6 度
俯角	2.4 度
仰角	2.0 度
スカイラインの切断	あり

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キャノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(9) 主要な眺望景観の変化(9.車橋歩道上(まちなか&田園コース))



## 10. 足長神社

足長神社からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(10)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(10)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として南西方向に硯石高原、入笠高原、市街地の背景となる山林、上川土手の桜並木を望めます。

計画路線は近景に位置し、諏訪市四賀の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 60.0 度と構造物が目立ちやすい値となっていますが、可視部は小さく、俯角は 4.8 度と俯瞰景観の中心域から外れており、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで市街地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である硯石高原、入笠高原、市街地の背景となる山林とは重なりはなく、景観資源である上川土手の桜並木とは一部が重なるもののわずかであるため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、足長神社からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(10) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 240m (近景)
水平見込角	60.0 度
俯角	4.8 度
スカイラインの切断	なし



現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 8 月 5 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(10) 主要な眺望景観の変化(10.足長神社)

## 11. 御射宮司神社遺跡

御射宮司神社遺跡からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(11)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(11)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として西方向に諏訪湖、硯石高原、塩嶺王城県立公園、北アルプス、湖岸通りの並木を望めます。

計画路線は近景に位置し、下諏訪町東高木の明かり部が視野に含まれますが、可視部は小さく、水平見込角は 1.5 度と構造物は目立たない値に、仰角は 1.7 度と圧迫感が生じない角度に抑えられているため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、硯石高原、塩嶺王城県立公園、北アルプス、湖岸通りの並木との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、御射宮司神社遺跡からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(11) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 270m (近景)
水平見込角	1.5 度
仰角	1.7 度
スカイラインの切断	なし

現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS Kiss X5		

写真 11.12.1.1(11) 主要な眺望景観の変化(11. 御射宮司神社遺跡)

## 12. みはらし台公園

みはらし台公園からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(12)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(12)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として、南西方向に諏訪湖、硯石高原、湖岸通りの並木を、南東方向に霧ヶ峰、高木のしだれ桜、緑の住宅地（高木地区）を望めます。

計画路線は中景に位置し、諏訪市四賀の明かり部が視野に含まれますが、可視部は小さく、水平見込角は0.8度と構造物は目立たない値に、仰角は0.3度と圧迫感が生じない角度に抑えられているため、ほとんど目立ちません。また、計画路線と景観資源である諏訪湖、霧ヶ峰、硯石高原、湖岸通りの並木、高木のしだれ桜、緑の住宅地（高木地区）との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路付属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、みはらし台公園からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(12) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 600m（中景）
水平見込角	0.8度
仰角	0.3度
スカイラインの切断	なし




現在の風景				
将来の風景				
変更される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	35mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	56mm
	使用カメラ	キヤノン EOS Kiss X5		

写真 11.12.1.1(12) 主要な眺望景観の変化(12.みはらし台公園)

### 13. 城山

城山からの主要な眺望景観の変化は写真 11.12.1.1(13)に、視覚に関する物理的指標による解析結果は表 11.12.1.14(13)に示すとおりです。

本眺望景観は、景観資源として、南方向に諏訪湖、硯石高原、入笠高原、湖岸通りの並木を望めます。

計画路線は近景に位置し、下諏訪町武居南の明かり部が視野に含まれ、水平見込角は 12.3 度と構造物が目立ちやすい値になっており、俯角は 7.5 度と俯瞰景観において目につきやすい角度となっていますが、法面は可能な限り緑化を行い周辺景観との調和を図ることで住宅地や耕作地に溶け込んでいるため、ほとんど目立ちません。また、計画路線景観資源である諏訪湖、硯石高原、入笠高原、湖岸通りの並木との重なりはないため、景観資源の眺望は阻害されず、スカイラインの切断も生じません。さらに、構造物・道路附属物の検討にあたっては、周辺景観との調和や、地域住民に配慮します。

よって、城山からの眺望景観の変化による影響はほとんど生じないと予測されます。

表 11.12.1.14(13) 視覚に関する物理的指標による解析結果

指標	内容
視距離	約 450m (近景)
水平見込角	12.3 度
俯角	7.5 度
スカイラインの切断	なし




現在の風景				
将来の風景				
改変される位置				
撮影条件	撮影日	平成 29 年 4 月 23 日	レンズ焦点距離	18mm
	天候	晴	35mm フィルム換算焦点距離	29mm
	使用カメラ	キヤノン EOS 80D		

写真 11.12.1.1(13) 主要な眺望景観の変化(13.城山)



### 3) 環境保全措置の検討

#### (1) 環境保全措置の検討

予測結果より、道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観への影響について、事業者の実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避又は低減することを目的として、2案の環境保全措置を検討しました。

検討の結果、「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」を採用します。

検討した環境保全措置は、表 11.12.1.15に示すとおりです。

表 11.12.1.15 環境保全措置の検討結果

環境保全措置	実施の適否	適否の理由
構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	適	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより周辺景観に調和させることで、景観への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。
地形改変部（法面含む）の緑化	適	地形改変部（法面含む）の緑化を行うことにより周辺景観に調和させることで、景観への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。

#### (2) 検討結果の検証

実施事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

#### (3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」、「地形改変部（法面含む）の緑化」の効果、実施位置、他の環境への影響について整理した結果は、表 11.12.1.16に示すとおりです。なお、環境保全措置の実施にあたっては、専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとします。

表 11.12.1.16(1) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討
	位置	眺望点より視認される範囲を含む計画路線全域
環境保全措置の効果	構造物（橋梁等）及び道路付属物のデザイン、色彩に配慮することにより、周辺景観との調和が見込まれる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	人と自然との触れ合いの活動の場への影響が低減される。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定する。

表 11.12.1.16(2) 検討結果の整理

実施主体	国土交通省関東地方整備局	
実施内容	種類	地形改変部（法面含む）の緑化
	位置	地形を改変する箇所
環境保全措置の効果	地形改変部（法面含む）の緑化を行うことにより、周辺景観との調和が見込まれる。	
効果の不確実性	なし	
他の環境への影響	人と自然との触れ合いの活動の場への影響が低減される。	

注：環境保全措置の具体化の検討時期は、詳細設計の段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定する。

#### 4) 事後調査

予測の手法は、図上解析による改変の位置、程度の把握、主要な眺望景観の変化を把握するフォトモンタージュ法等の多くの実績を有する手法であり、予測の不確実性は小さいと考えられます。

また、採用した環境保全措置についても効果に係る知見が十分に把握されているものと判断でき、効果の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は行わないものとします。

#### 5) 評価結果

##### (1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は道路の計画段階において、主要な眺望点、身近な眺望点及び景観資源をできる限り回避した計画としており、景観への影響に配慮し、環境負荷の回避・低減を図っています。

また、環境保全措置として「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」及び「地形改変部（法面含む）の緑化」を行い、環境負荷を低減します。

このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価します。